

5月31日 陸上フェスティバル 壮行会でのお話

皆さんおはようございます。

3日後に控えた6年生が出場する陸上フェスティバルに向けて、校長先生から「思いの力」と「言葉の力」という二つのお話をします。

まず「思いの力」というお話です。

皆さんは、「思っていることは本当にすることができる」という話を知っていますか。ナポレオン・ヒルという人が本の中で紹介した考え方です。分かりやすくお話しすると

思っていることを本当にするために必要なことは、
目標をはっきりともち、強い熱意と自信をもつこと
計画をはっきりとさせ、正しい知識とよい仲間をもつこと
目標に向かう確かな意思と習慣をもつことだそうです。

6年生の皆さん、

自分の出場する競技で何をどうしたいのか、
強く願い、自分なら出来ると心の中で何度も唱えてみてください。
そして、仲間の頑張りを認め、労い、ともによく戦うことを強く誓ってみてください。
そうやって、自分の心と真摯に向き合い、仲間と励まし合うことで、
当日も練習の成果が十分に生かされます。
期待しています。

次に「言葉の力」というお話です。

昔から、発した言葉には魂が宿ると言われています。それを「言霊」と言います。
この言葉の力、「言霊」を決して侮ってはなりません。
なぜならよい「言霊」は周りの人や自分をより幸せにし、悪い「言霊」は周りの人や自分に嫌な思いを負わせてしまうからです。
3日後に本番を控えた6年生の人たちに、1年生から5年生までの皆さんは、一体何を
してあげられるでしょうか。
そうです。応援です。
「頑張れー、応援しているよー」という、素敵な応援の言葉のその「言霊」が6年生一人一人の大きな力になって、頑張りを支えます。

もう一度皆さん、「頑張れ、6年生」と心をこめて唱えてみてください。

6年生の皆さん、きっとよい結果が出ます。
当日学校でたくさんの先生や下級生が応援しています。
私も観覧席で応援しています。

みんなの声は聞こえないかもしれませんが、強く祈っています。
頑張ってきてくださいね。